

令和7年度

長崎市地域防災計画・水防計画の主な修正点

# 長崎市地域防災計画等の主な修正点

- 1 国防災基本計画及び長崎県地域防災計画の変更を踏まえた修正
- 2 市及び関係機関による修正

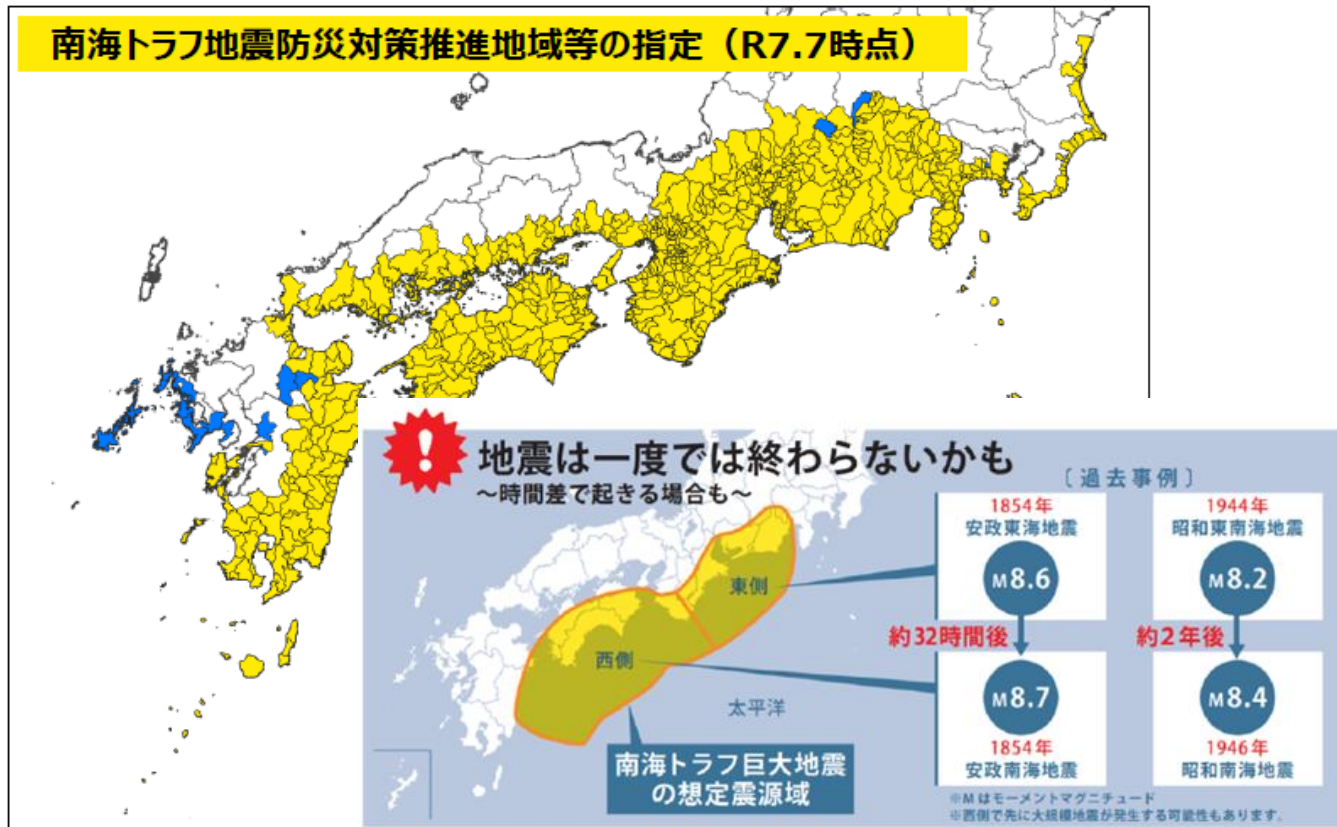
# 1 (1) 南海トラフ地震防災対策推進計画の策定【国、県】

## 概要

令和7年7月に南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されたことから、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法(平成14年法律第92号)第5条第2項の規定により南海トラフ地震防災対策推進計画を策定し、長崎市地域防災計画に掲載する。

## 推進計画の内容

- 1 総則
- 2 関係者との連携協力
- 3 津波からの防護、円滑な避難の確保及び迅速な救助に関する事項
- 4 時間差発生における円滑な避難の確保
- 5 地震防災上緊急に整備すべき施設の整備計画
- 6 防災訓練計画
- 7 地震防災上必要な教育及び広報に関する計画



# 1 (2) 感震ブレーカーの普及に関する計画の策定【国、県】

## 概要

令和6年能登半島地震により輪島市で発生した大規模火災を受け、防災基本計画において感震ブレーカーの普及が位置づけられ、その実効性を確保するため、地域防災計画において地域の実情に即した形での体制づくり等、感震ブレーカーの普及推進について具体的な取組内容を定める。

## 具体的な取り組み

- ・ 感震ブレーカーに関する広報啓発
- ・ 感震ブレーカーの普及推進体制の構築
- ・ 重点エリア等の設定
- ・ 感震ブレーカーの設置状況の把握等

### 感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

# 1 (3) 避難環境の整備【国、県】

## 概要

避難環境の整備に関連して、災害対策基本法改正などを踏まえた防災基本計画の修正に伴う地域防災計画の修正を行う。

## 修正の内容

被災者の生活の維持のため必要な食料、飲料水、燃料、毛布等の生活必需品等を効率的に調達・確保し、ニーズに応じて供給・分配を行えるよう、新物資システム(B-PLo)等を活用して施設(備蓄倉庫・物資拠点・避難所)ごとの備蓄物資の品目・数量や施設の概要等の情報を定期的に更新し、最新の状況を把握する。また、備蓄状況については、年に1回、広く住民に公表する。



※ 長崎スタジアムシティ内備蓄倉庫

# 長崎市地域防災計画の主な修正点

- 1 国防災基本計画及び長崎県地域防災計画の変更を踏まえた修正
- 2 市及び関係機関による修正

## 2 (1) 大規模火災対策計画における林野火災等の掲載

### 概要

あらかじめ市内の延焼のおそれがある密集市街地や林野の実態を把握し、大規模火災発生時の対応検討に努めることのほか、消防活動にあたり必要な事項を掲載。

### 掲載内容

- ① あらかじめ市内の延焼のおそれがある密集市街地や林野の実態を把握し、大規模火災発生時の対応について検討しておくよう努める。
- ② 密集市街地の火災や林野における火災は、通常の火災より人命の危険性や消火・救助活動の困難性が非常に高く、以下の点に留意して消火活動を行う。
  - ・ひとたび発生すると気象条件や地形、飛び火等の発生により、急激な延焼拡大等に至る場合があること
  - ・全体像の把握や、狭隘・斜面地部分への進入・放水活動が困難な場合があること
  - ・活動が長期化し多くの人員を必要とすること
- ③ 他の消防機関や消防防災航空隊等に情報共有するとともに、早期に応援要請を行うものとする。
- ④ あらかじめ警防計画の作成や防火水槽等の消防水利の整備、資機材や装備の充実に努める。



※ 総務省消防庁HPから抜粋

## 2 (2) 保健医療福祉調整地域本部の設置

### 目的

発災後、市長が必要と認めた場合は、関係機関等の協力を得て、保健・医療・福祉分野の総合調整を行うための「市保健医療福祉調整地域本部(以下「調整地域本部」という。)」を設置し、迅速かつ的確な保健医療福祉活動を実施する。

### 概要

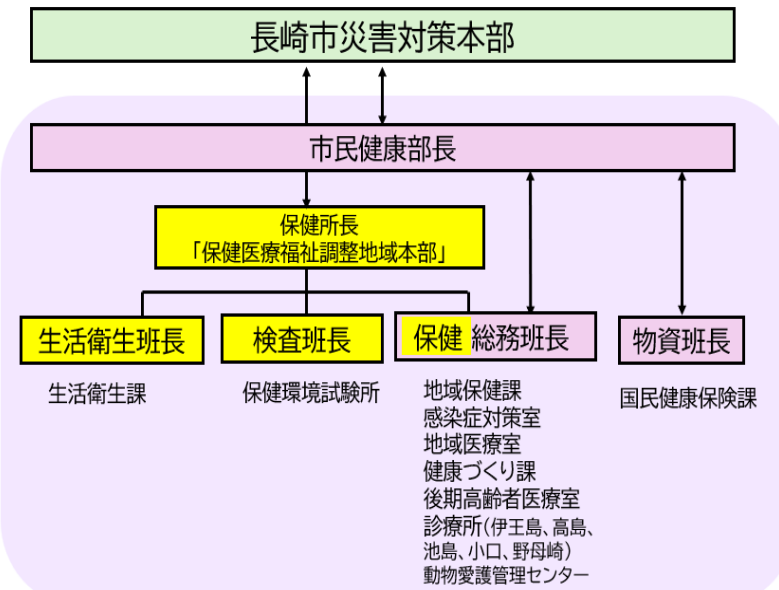
#### 1 運営について

調整地域本部長は保健所長とし、運営の全体的な調整は保健総務班が実施

#### 2 活動の概要

- ① 県への要請に基づき派遣された保健医療福祉活動チーム※の指揮・連絡及び避難所への派遣調整等を行う。
- ② 保健医療福祉活動チームからの活動内容や被害情報を収集、分析し、災害対応を改善する。
- ③ 調整地域本部の運営に当たっては、市災害対策本部をはじめ、県や医師会等関係機関と密に連携しながら、情報共有と意思決定を行うなど、総合的な保健医療福祉活動を実施する。

長崎市保健医療福祉調整地域本部組織図



※保健医療福祉活動チームとは、大規模災害時に被災地を支援する専門家チーム(DMAT、JMAT等)

## 2 (3) 観光災害対策計画の策定

### 目的

災害発生時の訪問客への情報発信、避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策等の計画及び訓練を行うとともに、施設等が行う対策を支援することにより、危機発生時に迅速な措置を的確に行う。

### 概要

#### 1 訪問客への情報提供

- ・ 災害発生時、訪問客が必要とする災害等の状況及び交通情報等を長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」等で発信するとともに、国等が運営する外国語サイトを周知する。

#### 2 外国人訪問客の避難誘導・安全確保等

- ・ 「観光施設における外国人旅行者のための災害時避難誘導初動対応マニュアル」を観光施設に提供する。
- ・ 外国人訪問客からの119番通報や救急現場などでの対話をスムーズに行うため、通訳コールセンターを介した外国語の対応を実施する。

#### 3 移動・帰宅が困難になった訪問客への支援

- ・ 災害により移動や帰宅が困難になっている訪問客に対し、一時滞在のための施設について、施設管理者や宿泊事業者と連携し、手配・情報提供を行う。
- ・ 外国人訪問客に対しては、各国大使館、交通事業者等の関係機関と連携し、移動・帰国への支援を行う など

プッシュ型情報発信アプリ「Safety tips」

自然災害の多い日本において訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう、平成26年10月から提供を開始した観光監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ。  
・ 日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、噴火速報、避難情報、熱中症情報、Jアラート等をプッシュ型で通知できる他、対応フローチャートやコミュニケーションカード等、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を掲載。

・ 地震発生時のプッシュ通知



【対応言語数】:15言語  
英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・日本語(スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語・タガログ語・ネパール語・クメール語・ビルマ語・モンゴル語)

Android: iPhone

※本アプリは無料



## 2 (4) 災害時連携協定に伴う修正①

### 概要

本市が締結している災害時連携協定を資料編に追加



### 追加する協定

#### ア 食糧等物資の供給対策

協定名	災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定書
相手方	株式会社 エレナ
内容	緊急に食糧等物資の供給の協力に関する
締結日	令和7年3月26日

#### イ 生活物資等の供給対策

協定名	災害時における物資供給に関する協定書
相手方	プラス株式会社ジョインテックスカンパニー
内容	緊急に生活物資等の供給の協力に関する
締結日	令和7年3月28日

## 2 (4) 災害時連携協定に伴う修正②

### 概要

本市が締結している災害時連携協定を資料編に追加



### 追加する協定

#### ウ 孤立地域支援対策

協定名	「ながさき海の駅」長崎サンセットマリーナの防災利用に関する協定
相手方	長崎サンセットマリーナ株式会社、福田小学校区コミュニティ連絡協議会
内容	災害時等における施設の防災機能(物資の輸送及び備蓄、並びに避難者及び災害応急対策要員等の海上輸送等)の円滑な利用に関する
締結日	令和8年3月16日

## 2 (5) 所要の整備

- 各種統計データの時点修正
- 長崎市及び関係機関の組織、分掌事務の見直しに伴う修正
- その他所要の修正(字句等)